

令和7年度地域福祉懇談会ワークショップワークシートまとめ

【参加者】 コミ協：木村会長、佐藤副会長、福祉部：長沢会長、田中副会長、水田高齢者クラブ：高井会長、
小向茶の間：米田夫妻様、百寿会：風間会長、山田会計、ワークセンターほほえみ：又地さん、デイサービス

＜小須戸地区＞

開催日時:令和7年6月17日(火)13時30分～ 会場 小須戸まちづくりセンター(3階会議室)

地区別計画推進目標ごとに推進できそうなこと		地域の取組みをする上での課題解決のためにできること
1 明るく元気な地域づくり	2 安全で安心な地域づくり	1 地域づくりにおけるリーダー、男性の参加者を増やす
①自治会等を核としてすすめよう ・タクシーが不便で通院に困っている人がいることから、緑花園では介護タクシーを立ち上げた。(6月より1台) ・ケンちゃんタクシーは、障がいの方もよく使っている。 ・買い物支援は継続。利用者は買い物を楽しんでいる。歩行が難しい方の希望に対してはどう応えていくのか。 ・移動支援の運転手の高齢化に対し、若い世代のボランティア募集が課題	①子どもの見守りを強化していこう ・子どもの居場所で福祉施設の場所の開放を検討。	
	②防災については、積極的な参加を呼びかけよう	
3 健康で豊かな地域づくり	4 相談しやすい体制づくり	地域の課題のためにできそうなこと
①幅広い年齢層や地元の参加者を増やす工夫をしていこう ・小向のお茶の間は、運営委員会方式で行い順調である。 8月からは第2の茶の間を夜の部中心で行う予定。 ・茶の間では、認知症の方もサポートしている。 ・茶の間へ行きたいが歩くのが大変な人への移動手段の検討。	①時代に合わせた情報発信をしていこう ・未就園児のいる世帯への情報発信が課題。 ・身体が不自由な方へ、制度の利用だけではなく地域や家族と繋がり続ける支援を考えてほしい。	・田上のタクシー会社がなくなり、困っている高齢者が増えていることから、移動の手段で「困っている」声を集めて要望していく。 ・移動の課題に対し「委員会」を作って取り組んでみてはどうか。 ・コミ協だけで難しければ圏域で考える。
②健康増進策を推進していこう		

- 地域活動の評価(令和6年度の地域福祉懇談会から抜粋)
- 令和7年度の活動に向けて(令和6年度の地域福祉懇談会から抜粋)

